

ボラ はあと



編集：能美市ボランティア連絡協議会

能美市ボランティア連絡協議会会員研修会

開催日：令和3年2月27日

会場：寺井地区公民館

大笑い福祉使・楽語(らくご)家
交遊亭 楽笑氏

大笑い福祉使
交遊亭 楽笑氏

集まれボランティア!

「認め合い 助け合って 明るい未来へ」
~いつも 心ころに 逢い・ラブ・遊~

2・3
ページ

- ・能美市ボランティア連絡協議会会員研修会の報告
- ・研修会に参加しての感想

目次

- ・「ありがとう、笑顔と元気のメッセージ」パネル展示に参加して
- ・コロナ禍での活動や思いを伝えます。
- ・能美市ボランティア連絡協議会活動を振り返って

4
ページ

- ・ニューフェイスリレー紹介
- ・令和3年度能美市ボランティア連絡協議会総会のお知らせ
- ・ボランティア掲示板
- ・きまっしボランティア (編集後記)



ニューフェイスリレー紹介

◆中庄町丸いも娯楽会 南 修二

「おじいちゃん！おはようございまーす。」膝まである赤や黄色の長靴を履き、手にはちっちゃなシャベルを持ち、緊張しながら列を組んで危なげに畦道を進んでくる姿が見えると思わず、「おーい来たか。待っとったぞ！」の声を発してしまいます。こんな感じで保育園児との丸いもの植え付けや収穫作業が始まります。

園児達は、何をやるにも輝く目で一生懸命にやってくれます。そして誉めてあげると、笑顔いっぱいでお話してくれます。秋には、口一杯に丸いも料理を食します。この土に親しみ収穫した食物を味わうという大地のめぐみを体験を通じて得た事が、児童達の記憶に残り、成人の暁には自然を大切に地球を大切に繋がってもらいたいと願いながら、「中庄丸いも娯楽会」は毎年活動しています。

令和3年度
能美市ボランティア連絡協議会
総会のお知らせ

4月17日(土)13時30分より、寺井地区公民館にて、令和3年度能美市ボランティア連絡協議会総会を開催します。是非、ご参加下さい。

詳細につきましては、ボランティアグループの代表宛に、ご案内します。

※今後の予定につきましては、変更もありますことをご了承ください。

ボランティア
掲示板

ボランティア活動保険の
加入・更新はしましたか?

昨年加入された方も
令和3年度の新たな加入が必要です。

ボランティア稼働中の様々な事故によるケガや賠償責任を保障するボランティア活動保険の加入・更新の時期です。能美市ボランティア・コミュニティ活動支援センターでは、ボランティア活動保険の加入を受け付けています。

保険について詳しく知りたい方は能美市ボランティア・コミュニティ活動支援センターまでお問合せ下さい。

きまっしボランティア

編集後記

東日本大震災から十年。福島県いわき市の知人は今も放射能の恐怖と戦っていると話します。同じとは言えませんが、コロナを経験して色も臭いも無いものに怯えています。2020年のあの時から日常が一変してしまいました。女子会も旅行も、そしてボランティア活動までも…。日常の何気ないごく当たり前の風景や自然の移ろい、人との語らいがどれだけ大切なものであったか今更ながら友人の訴えが身に染みます。収束ではなく終息を願って止みません。

中田 紀子

あなたも活動をはじめてみませんか。いつでも **今** がはじまりです。

「ありがとう、笑顔と元気のメッセージ」パネル展示に参加して

手話サークルゆず 坂下 淳子

2月21日から28日まで1週間にわたり、能美ふるさとミュージアムと寺井地区公民館で、「ありがとう、笑顔と元気のメッセージ」と題して、各ボランティアグループの活動のアピールや福祉の魅力のフォトコンテストの発表展示等が行われました。

今年はコロナ禍でほとんどのグループが活動制限されていますが、内容は写真やイラストなどを使い、明るいイメージがありました。制限がある中で、皆さんが工夫して活動しているんだということがよくわかりました。見学された一般の方からも「写真や色使いがとても明るくて参考になる」という声も聞かれました。

「能美市には意外とボランティアグループがあるんですね」という声もあり、能美市は多岐にわたる福祉活動が盛んだという証ですね。今年は活動が少なく、発表を見合わせたグループも多いと思いますが、能美市が住みやすい町であるよう、1人1人が生き生きと過ごせるよう、多くの方にボランティアグループの活動を知ってもらい活用してもらうために、このような展示は大切なんだと実感しました。

また来年度、多くの方が見学できるよう工夫をしながら開催できればと思います。



能美市ボランティア連絡協議会 会員研修会の報告

令和3年2月27日(土)
寺井地区公民館にて
能美市ボランティア連絡協議会
会員研修会を開催し
会員38名が
参加しました。



能美市ボランティア連絡協議会会長 田中 玉美

昨年は、コロナ禍で直前になって中止になった研修会でしたが、今年度は規模を縮小しオンライン形式 ZOOM でようやく開催に漕ぎつける事ができました。昨年お呼びする予定でした、大阪在住の「大笑い福祉使・楽語(らくご)家」交遊亭楽笑氏に講演について再度お願いしたところ、快く引き受けていただき今日の日を迎える事が出来ました。

楽笑さんのこれまでの取り組みについてお話を伺ったのですが、本当に様々な取り組みをされていて驚きました。その中でも先ずびっくりした事は、手話をしながらの落語です。手話を覚えるのにかなり苦労されたそうですが、話しながら自然と手話される姿を見てよくこんなことができるものだと感じてしまいました。それから心に残った言葉はいくつもありません。

①何を言っても「ステキなコミュニケーションを目指しましょう」②あいさつは ③あかるく ④いきいきと ⑤わやかに ⑥たえる③自分から積極的に声掛けを実践すれば「まあいい社会」④福祉とは ⑤だんの ⑥らしを ⑦あわせに⑧児童福祉、高齢者福祉、障がい者福祉は「自分ごと」⑨地域でつながり、認め合って助け合い⑩ボランティアは支えあいの「キーワード」⑪虐待、いじめ、差別を「しない。させない。無視しない。」まだまだたくさんありましたが書ききれません。

コロナ禍の中で人と人のつながりの大切さ、コミュニケーションの重要性等について「わかりやすく」「楽しく」講演して頂きました。今回の楽笑さんの想いを、自分たちのボランティア活動の中に少しでも「自分事」として取り込んでいけたらもっともって皆が住みやすい社会の一助になると確信できた研修会でした。



繋がりは大切でっせ。だから、人、犬、猫等、誰にでも挨拶します〜!!

コロナ禍での活動や思いを伝えます。

南 京子 1分野役員

この1年はコロナ禍により全ての大会・行事等が中止になりました。手話の活動を行う中で、手話だけ出来れば良い訳では無く、上半身と口元が見えなければ意思疎通は難しいです。そんな時、通訳の方がフェイスシールドを着用。即、コロナ禍に対応した行動を開始。今はまだ自粛中の為、すべての活動は難しいですが出来ることから頑張っていきたいと思っています。

小西 彰子 2分野役員

昨年皆さんはどう過ごされたのでしょうか?ボランティア活動だけでなく生活の全てが激変し、やりたい事もできず会いたい人にも会えなかったことと思います。私にとっては、人と会えない寂しさと会える喜びが身に沁みた1年でした。ボランティア活動はできなかったけれど、「人間万事塞翁が馬」と思いながら春が来るのを信じて待っています。

中川 美子 3分野役員

コロナに翻弄された一年でした。あれもダメ、これもダメかもと、できなかった事も多々ありました。ゆっくりした時間の中で暮らしのリズムが整った事はコロナで世の中が一変したことで、できたことかなと思います。今年も活動の根底は揺るがさず、できること探しの一年になりそうです。

能美市ボランティア連絡協議会活動を振り返って

令和2年 4月	平成2年度総会(コロナ禍により書面表決)
10月 4日(日)	分野別研修会(1分野 高齢者・障がい者等支援)
	// (2分野 芸能・生涯学習関連・文化)
10月25日(日)	// (3分野 環境・子育て支援・国際交流他)
令和3年 2月21日(日)~28日(日)	ボランティアグループ活動のパネル展示
2月27日(土)	会員研修会



研修会に参加しての感想

オカリナ倶楽部 九谷の風 新谷 恵美子

当日会場はコロナ感染予防対策がしっかりとなされており、受付ではゴーグルも渡され、終始心地よく聴講できました。

オンライン形式ではありましたが、講師の交遊亭楽笑氏の「認め合い 助け合い 明るい未来へ」をスローガンに積極的なボランティア活動の情熱が十分に伝わりました。

ステイホームが続く普通の生活ができる有難さ、人との繋がりの大切さや喜びを実感している今だからこそ自分が出来るボランティア活動に協力せねばと思いを強くしました。

寺井地域更生保護女性会 高倉 桂子

大阪府と能美市をオンラインで結ぶ新鮮な企画の研修会でしたが、講師の人柄が画面からじんじんと伝わり、コロナで公私共に閉塞感に包まれていた心が解放されました。楽笑氏の巧みな話芸に感心しながら、忘れてはならない大切な気づきを頂きました。古代から伝わる教えとしての「人は大地で生まれる」「人は出会ってつながる」の奥深い言葉の意味や、虐待・いじめ・差別に向き合う時の「しない・させない・認めない・見捨てない・許さない・作らない・隠さない・黙らない」などの心得えを再認識する貴重な機会となりました。有難うございました。

